

令和2年度第3回仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会議事要旨

日 時：令和3年1月29日（金）

13時30分～16時30分

場 所：青葉区役所7階会議室

出 席：島田委員長、青木副委員長、小川委員、  
加藤委員、金委員

※過半数の出席により委員会成立

1 開会

2 挨拶 仙台市青葉区区民協働まちづくり事業評価委員会 委員長 島田 福男

3 議事

(1) 議事録署名人選定 青木副委員長

(2) 令和2年度まちづくり活動助成事業 事業報告会

◇各団体プレゼンテーション

◇質疑応答、意見等

①桜ヶ丘学区連合町内会

委員 新型コロナ感染の関係もあり、大変ご苦勞されていると思う。まず、ご説明いただいた健康増進や楽しむためのウォーキングコースに案内版を立てられたということが高く評価したい。ご説明にもあったが、このような状況下の中で、そのコースを活用した行事というものはなかなかできないと思うが、1日でも早くコロナが収束し、このコースで多くの方々が健康づくりに励んでいただけることを期待している。今後も頑張っていたきたい。1点質問で、予算の中には新型コロナ感染防止に関わる消毒液や検温器等といった対策費に関わるものはどの中に入っているのか。

説明者 今回は、コロナに助けられた部分もある。普通であれば参加しない団体に強制的に出欠とるから参加してと言ってもなかなか難しい。ただ、協働の仕事を見つけて、それで集まってきた方に対して、自然に、マスク着用、それからアルコール消毒、体温測定をお願いし、それぞれ作業に入ってくださいということで行った。それが出欠簿となり、きちんと理事会でも報告し、今、全体が参加しているという状況である。

委員 公園を身近なものにして、利用していただくという活動ということで、3年間大変ご苦勞様されたと思う。少し細かいところだが、全団体が参加できなかった理由は何か。

説明者 特別な理由はなかったが、一番大きな理由はやはり桜ヶ丘公園が非常に外れにあるため、あそこまで行って作業することは難しいという話と、先ほどの色々な用具関係をどうやって持って行くかとそういう問題があった。しかし、それはこちらの進め方がよくなく、まちづくりというものをしっかり説明して行っていれば、ある程度防げたかもしれない。最初は、こういうふうに公園で花壇を作りましょと、大まかな話をしてしまったため、そういったものであれば、別に無理して参加する必要はないな

と、そういう形にとられたのでないかと思う。桜ヶ丘地区の人口減少の中で、何とか歯止めをかけるために、若い人を呼び寄せる魅力づくりということで、近くの公園を挙げ、色々なまちづくりの要素を加えて、やってきているような状態である。

委員　　せっかく自分たちの地域を良くしようという活動なので、ぜひその辺の理念をしっかりとご説明していただくと、より共鳴されるのかなと感じた。また、企業さんや学校との協力関係があったが、それは今後どのようなようになるのか。今年だけか。

説明者　　今回は花屋さんに全面的に協力いただいたが、こちらとしてもやはり企業さんが成り立つような形で、特に宣伝関係は私どもがやっている。今回はこういう形で大変地域に協力していただいた。一方で、各家庭の中で、その花屋さんから色々なものを買っていただくと、これはまた助かるという話がある。それから、桜ヶ丘小学校の3年生が、桜ヶ丘をもっと幸せなまちにしようという大作戦をやっている。これは学校ばかりでなく、学校から一歩外に出た活動である。子ども達がやられたのは、色々な公園の清掃、これは本当に小学3年生では考えられないようなことと思うが、実際にそういう作戦を立ててやっている。地域としては本当にありがたい。そういったものに全面的に協力して、30年後になっても、桜ヶ丘は立派な良いところだと話し合えるような、そういう協力関係を大事にしたい。

委員　　他の地区でも、小学生のアイデアがきっかけに活動が始まったというところもあるため、その辺企業さんや学校等の関係は大切にしてほしいと思う。

## ②仙台芋沢自然薯研究部会

委員　　助成3年目ということで、来年からは助成がなくなるが、この報告書を見る限り、参加人数も多く収入も結構上がっているため、事業としては十分成り立つと思う。ただ、軽トラ市が9人で4,500円ということは、1台500円か。もう少し協力金をいただいても良いのでないかと思う。そうすれば、もっともっと事業がスムーズに行くのではないか。

説明者　　確かに我々の会費も含め、今の状況では当然やっていけない。今は、販売金額の5%をいただいているが、当然それが20%なりになっていくと思う。軽トラ市の500円については、去年が少し悪かったのでそうしたが、今年はたまたま完売で、それが継続していくのであれば、生産者の方ももっと出してくれると思う。だからそういう面では、我々自分の部分だけを活性化すればいいというイメージではなく、大変ならばもっと出そうよと言われるようにしていかなければいけない。

委員　　これからも続けていただきたいので、一応参考になればと思うが、今回新しく作ったチラシがすごく良いと高く評価している。なぜかというと、おまつり自体の内容も非常に魅力があるが、今、ウィズコロナという時代で、この自然薯の食品成分表を見ると、栄養価が色々書いてある。疲労回復、虚弱体質の改善や食欲増進、免疫力を高め、風邪予防の優れた効果があるという部分についてはまさに今求められている食材でないかと思う。おまつりも含めて、盛り上げる他に、ぜひ、この自然薯を作って、そして多くの人たちに食べていただいて、免疫力を高め、新型コロナウイルスに立ち向かうぞというような姿勢を、この活動で、示していただければいいのではないかと思う。このパンフレットにもう一つ加えれば良いと思うところは、例えば、免疫だとか

ウイルス学に長けている専門医からのエビデンス等、一言コメントを入れてもらうとなお良いのではないか。以前もこういったエビデンスはあった方がいいですよ話をしたが、まさにこのチラシだった。このチラシが出て、これはすごく良いと思ったため、ぜひ今後の活動、頑張ってくださいたいと思う。応援している。

委員 この軽トラ市の写真を見て、今後の参考になればと思う。軽トラ市は軽トラ市なのかもしれないが、これだけ多くの方が、一番は自然薯を目当てに来られると思うが、何かその過ごし方、提供方法として、色々なマルシェのようなところで、例えば手づくりの、雑貨のものであったり飲食のものであったり、そういったものを色々なところで展開している方々もいらっしゃるため、少し軽トラ市とは異なるかもしれないが、会場の雰囲気やいらっしゃるお客さんの層に応じて、少し食に繋がっていくような方と連携して、いらっしゃる方の滞在時間を伸ばすような、そういった工夫をしながら、広がりを持たせていければ良いと思う。どこから次の担い手に繋がるか分からないが、何かそういう出展されている方々の色々な世代の方の交流も、場合によってはいいのではないかと考えている。何かそういった先に情報をお求めの場合は、色々なところで展開している方がいらっしゃるため、何かご相談いただければと思う。

説明者 今回、この写真には入っていなかったが、地元の方の手づくり手芸関係等は少し置かしてほしいとなり、壁の方、駐車場の入口の方に少し入っていただいた。地元の色々な人が来るため、声をかけていただければ、それが増えて、一緒にやっていけるかなと思う。もう少し色々な面で大きくやれば良い。やっていくごとに、スタッフが足りない、駐車場が足りないということもあって、田んぼでも潰したらという話もあるが、そこまでの負担をお願いできる人はいない。そのため、現状で続けたいと思っている。

### ③Via 仙台

委員 コロナ禍で、外やネットも使ってということで多様なイベントが実施できて、素晴らしいと思う。この3つのイベント全部に出られた方や単発で出られた方、どういった方々だったのか。例えば、宣伝をされたとは思いますが、何を見て来てくださったのか、身内のお友達のご紹介とかかもしれないが、どういったものに引かかかって来てくださったのか、参加者のご様子を教えていただきたい。また、リモート等での参加者数は何人位だったのか。

説明者 グラフの8名の方の回答によるが、各仙台市の文化施設、メディアテークや市民会館、そういった文化施設に置いたリーフレットが、半分以上あるため、ネット以上に紙媒体による発信というのはまだまだ重要度があると感じた。よく訪れる図書館に本を借りに行ったついでにチラシを見かけたとか、そういうきっかけでアクセスしていただいた方が結構いたようである。ネット配信だけではなく、紙媒体でも、引き続きポスターやチラシ、フライヤーを作って発信していきたいと思っている。また、リモートの参加者については、やはり会場に実際来たいという方が多くいらっしゃったため、2名位であった。リモートでもっと参加しやすいようZOOMを取り入れたが、YouTubeでもストリーミングで常に配信し続けて、誰でもアクセスすればすぐ見られるような状態という工夫も今後はしていかなければと思った。参加者については、常連

の方もいるが、それぞれ都合もあり、どれかに1回出られたという方もいた。

委員 中高生や大学生も含めて結構歴史好きなお子さんも多いため、女性の方も含めて様々な方が参加しやすいよう、そういった工夫も追加されるといいかと感じた。ウェブはこれからもっともっと人数が増えると思うため、体制のところで大変だとは思いますが、そういったところの管理の仕方等上手くいくといいなと思った。

委員 地図をテーマに、過去現在未来という話ができただことは大変素晴らしい企画だと思う。古地図は結構マニアが多いらしいため、非常に注目を浴びたのではないかと思うが、アーカイブというのがYouTubeにアップされたものという解釈でよろしいか。

説明者 その通りである。当日の3回分のイベントを、YouTubeに載せてYouTubeがなくならない限りは常時、閲覧できる状態である。

委員 せっかく素晴らしいお話だが、コロナ対策で人数制限しなければならないという中のため、なるべくアーカイブの存在を広く発信し、多くの方に情報共有していただけるようになれば、より素晴らしいのではないかと思う。

#### ④折立素敵物語実行委員会

委員 小学生も参画しながら準備を進められたということで、1つ伺いたいことが、準備のところは少し制限をして、大人の方中心に準備をされたようだが、反省会なども行ってらっしゃるようで、子どもたちの反応があれば、何か聞かせていただきたい。また、活動報告を町内の皆さんに配られたということで、チラシでご案内はあってもこういう報告も、全世帯に回されるというのはあまりないため、とてもいいなと思って伺っていた。地域の皆さんの声は、今、発表の中でも出たかと思うが、特に印象的な声があれば、もう少し聞かせていただければと思う。また、決算額を拝見すると、協賛金が予算よりも大幅に多く、これは一口の金額は自由設定なのか、一口いくらかもともと決められていたのか、教えていただければと思う。

説明者 子どもたちからの声は、反省会をする中で色々耳に入った。ひとつ引用するとすれば、今回の声掛けは、小学校全体にはしたが、特定の6年生に色々お手伝いをもらうような声掛けはしなかった。しかし、去年の6年生、今年中学校1年生になった子どもさんが来てくれて、俺去年やったが、声掛けされなかった、いいなという声があった。それから、素敵物語そのものの事業が、折立学区内の色々な事業を扱う市民センターのおかげで、市民センターに該当するすべての方々にチラシを配布することができた。あまり早く回すと忘れてしまうため、12月5日に配布した。チラシは、12月1日号で、その前に市民センターだよりや、各地域の色々な集まりがある時に、今年は12月5日だというのは色々してきた。参加した人たちの様子を見ると、町内会は12あるが、満遍なく通じたのかなと思われるような参加者の顔ぶれであった。協賛金については、1口500円で募った。500円で良いと言ってももっといっぱい出すからという人もいて、では来年どうするかと少し悩んでいる。そういった状態で、事業そのものに対して、地域の人たちが待っていてくれたと感じた。

#### ⑤清瀬の会

委員 作並・新川は青葉区の中でも大変素晴らしい自然がたくさんあるところだと思うの

で、その素晴らしい自然をより多くの方に知ってもらおうということで、素晴らしい活動だと思う。1つ目は、データベースを作成されるということだが、写真は結構便利で、大きく印刷すると写真展に使えて、小さく印刷するとポストカードにできる。そのため、絵葉書ということではなく、作並にある、咲いている植物を植物図鑑みたいな形で、絵はがきやポストカードみたいに出されても、それはそれで非常に作並にはこんな可愛い花がたくさん咲いているというアピールになると思う。ぜひ、その辺はご一考いただければと思う。それと、支出の部分で、会場使用料や写真教室のところがゼロになっているが、これは今後写真展をやるとき、支出は発生しうるか。

説明者 作並でラサントという会場があり、そこで少し大きな図を20点くらい並べる予定で考えている。

委員 作並は旅館みたいな、不特定多数の方が出入りする場所もあるため、そういったところでポストカードを販売し、置いてもらうというのもありかと思う。ぜひ色々と今後の活動に向けて期待している。

委員 素敵な写真がネットに溢れている中、少しやる気や不安がメンバーに生じたということで、活動の方向性を皆さんで変えられるきっかけができて、良かったと思う。こちらの記録をとるという方向性を変えられて、その記録について今後はどういう風に外に出していく予定か。パネルの展示や絵はがきはされると思うが、せっかくとられた記録というのは、どのようにこれから活動に活かされるか、そういったことは考えているか。

説明者 今度の4月からの1年間で、まずは先生を探し、その先生のご指導を受けて、自分たちにはどんな活動の仕方が一番合理的で長く活動できるかという初歩に戻り、少し会を立て直そうと反省しているところである。

委員 せっかくその記録が写真として残るということで、それを地域のところでどう活かせるかとか、地域の皆さんにその地域の良さをどう伝えるかみたいなところに、ただ、植物好きの皆さんで記録を撮られる会ではないと思うので、そういったところを講師の方に教わりながら地域とつなげていけると良いと思う。地域の良さというか、皆さんが地域を好きになるきっかけになると良いと思った。もしかしたら何か学術的な素敵な発見があるかもしれない。

説明者 そういう楽しみが一つあればいいと思っている。

委員 少し参考に、宮城の中でも色々な自然観察のグループがあり、山を巡ったり里山を探索している活動を長くされている方もいらっしゃると思うため、ぜひ何かそういう方に、その地域のことを一度ご案内していただき、一緒に歩かれるのも一つかなと思う。お花に限らず、きのこも色々なものがあり、それぞれにファンも多くいらっしゃるようなので、何かそういう方々と交流も交えながら、皆さんの写真を撮るところを活かしていただければと思う。もしそういう地元の情報で、何かあれば声を聞いていただければと思う。

委員 作並特有の花や木があると思うが、全国にあるものでも、恐らく作並では咲く地域や実のなる時期が微妙にずれると思う。この花はこうだが、作並ではいつ頃咲くという写真を撮ったり、いつ頃実がなるという日にちを入れる等、細かくすると、作並ではということで、地域が見直されて、愛着が湧くと思う。作並特有の種類だけではなく、そ

ういう咲く時期にもこだわって、できたら良いと思う。

#### ⑥折立学区町内会連合会

委員 蕃山を何とか活用できないかということで、大変素敵な活動だと思う。1つお伺いしたいのだが、今年度未整備の部分を来年度行うということだが、大体どの位時間がかかりそうなボリュームか。

説明者 4、5月から事業を始めて、11月までの間に月1回程度、取り組んでみたいと思っている。ただ、まだ大梅寺コースの方にはいわゆる枯れ木、登山道にかかりそうな枯れ木が約100本ある。それを切ったりすると大体作業は2時間位ずつかかる。チェーンソー3台くらい使って進めるため、なかなか危険が伴う。特にその辺のところは注意したいと考えている。

委員 来年度で何とか見込み、目途が立ちそうか。

説明者 おおよそ枯れ木や倒木の除去は終わる見込みである。松倉コースと西花苑と栗生団地のコースについては、割合距離が短いので大丈夫でないかと考えている。

委員 より地域の方にとって、蕃山が身近なものになってくれることを祈っている。

委員 こちらも活動のきっかけが、小学生のまちの将来を考えた提案からということで、その思いを感じた地域の有志の方が、活動を始められたところから、今回のような実際の実践まで行われて何よりだと感じた。そういった意味では次年度は、自主的な活動になお進んでいかれるということだが、小学生や地域の方々と整備したところをぜひ楽しみながら、未整備の方も行っていくと良いと思った。次のコースの整備のこともあると思うが、先ほど、倒木の写真があり、自然環境もあるため、災害もこうまでならなければならないと思うが、皆さんのご健康も何よりかと思うため、安全第一に、活動を進めていただけたらと思う。ちなみに、今回整備されたところで、地域の方やこういった提案に関係した小学生の方も、中学生になっているかもしれないが、そういった皆さんのお声や反応等、お分かりであれば少し教えていただきたいというのが1点と、倒木はその後どういう風に、何か活動で活かされるのか、或いは何か行政の方で処理されるのか、お分かりであれば教えてほしい。

説明者 倒木について活用した例を挙げると、開山堂の脇のベンチくらいである。当初は階段のところに使おうと思っていたが、やはり倒木は腐るのが早いということで、実際のところは購入した木を使った。また、今年度はコロナの関係で、小学生登山ができなかった。令和3年度はぜひできればと考えている。それから本当にありがたかったことは、最初に事業のお願いをしたときに、やはり地域から協力をいただかなければならないということで、賛助金の話が出て、今ではたくさんいただき、次年度はもう助成いただかなくても自前でできるということになっている。逆に言うと、委員の方々のご意見のおかげで、こういうようにできたと感謝している。

#### ⑦荒巻地区まちづくり委員会

委員 このタウンマップについて何点かお聞きしたい。タウンマップの委員会みたいな組織化はされているか。

説明者 環境部会と、福祉部会の中からメンバー選出し、その約5、6名で、編集した。

委員 それに関連して、この製作、そして発行した時点と、月日が経てば当然色々と変わって変更するところも出てくると思うが、小売店や飲食店、様々なところで変更があった都度、見直しというものも、その委員会の中で当然話し合われているか。

説明者 初版というか、平成25年に最初に作って、それから結構時間が経ているということで今回改訂版とした。いずれまた3年後、4年後にはまた作らなければならないと思っている。

委員 このマップが、東日本大震災から非常に重要視されてきていると思う。そういう意味で、青葉区の方々が非常に関心のあるところで、何か有事の際にも十分頼りになるものだと思う。今後、新型コロナウイルスの感染に伴った予防接種だとか、これがどうなるか分からない。そういうところで、予防接種の場所がここにあるとか、色々な情報の提供も出てくると思う。そういう意味でも、組織化をぜひされて、このマップを、作ることだけが目的ではなく、活用されることを目的にしてみたらどうかと思う。非常に大事な活動を担っていると思うため、応援している。頑張ってください。

委員 お年寄りに安心な地域は一般住民にとっても安心なところだと思う。この予算を見ると、町内会連合会から5万円、社会福祉協議会から10万円ということで、地域を挙げた地域づくりだと感じた。マップはできたが、他の委員からもあったように、これを今後どう活動につなげていくか、活用していくかということが大事だと思う。荒巻地区は歴史のあるところで、皆がこれからまとまってやっていけると思うが、頑張してほしい。

説明者 余談になるが、配布については先ほど申し上げたように、35町内会あるのだが、その町内会長宛には、運送会社は使わず、まちづくり委員会のメンバーですべて持参したということで経費を削減したりした。

#### ⑧一般社団法人 アート・インクルージョン

委員 コロナ禍で、方向を色々変えなければならなかったということで、事業所さん同士を結んでオンラインライブをされているということだが、具体的には一般の方が見て評価が高かったとか、こういったものをまた見てみたいという声を拾えたりしたか。もし拾っていたらどんなものが人気だったか教えていただきたい。

説明者 コメントは入れられないようになっている。利用者さんも見ることや、そういうのをすごく気にする方がいらっしゃる。SNSを通してアイドル活動をしている女の子が、やはり自分が配信するよりも、この事業所のお祭りとしてイベントとして配信することによって再生回数がすごくあって、自分が映っているものに300もついたとかすごく喜んでる。

委員 そうすると出演された方の反応は分かると思うが、見られた方の反応はどんな風を受け止めているか。通りを歩いている方もいらっしゃったが、外でやられたイベントについては何かアンケートをとったりお声を拾ったりされたか。

説明者 申し訳ないがアンケート等で特に拾ってはいない。出店された事業所さんの中では、すごく面白い、こういう表現方法があったのかという声がある。場所の作り方についても、すごく参考になると事業所さんからは聞いている。

- 委員 同じ場所でやっている別の事業所の方が、そういう風に客観的に見ていたのか、それとも出た方か。
- 説明者 長町のイベントに出ていただいた事業所さんである。
- 委員 出演者側になるか。出演を依頼した側になるか。
- 説明者 出てはいないが、その観覧しての感想である。マルシェの長町の会場にモニターをいくつか配置した。それを見て面白いと。こういう表現方法もあるのかと取り組みを評価いただいた。
- 委員 この報告書の中の事業の成果と効果で、コロナ禍でも開催できるイベントを運営したこと、また、その中でも障害者やまち行く人が孤立しない交流事業を心がけ、様々な可能性を広げたこと、この点は非常に高い評価をしたいと思う。そこで、2つお聞きして参考にしたいのだが、障害者、体のハンディのある人のご意見をお聞きしたと思うが、よろしければ1つだけでも、どういうご意見があったか、また、様々な可能性を広げたとあるが、それも1つどんな可能性が広がったか、その2点聞かせてほしい。
- 説明者 最後の画面右側のギターを持っている彼がそうだが、普段はずっと家でYouTubeを見ている。それが、自分も出演できるということで、今までは事業所の小さなチャンネルを持っていたが、それをもっとライブ配信でつなげることができるということで、すごくやる気が出ている。あとは、可能性というよりは配信業務を、利用者さんにやっていただいている。機械を覚えていただき、それぞれできるところを担当して、配信班のようなグループができている。月1回のオンラインライブや展覧会は、事業所内土日どちらかで開催するが、お仕事として配信業務をしていただき、あとは私達もまだ始めたばかりのため、映像が荒かった等色々問題点はあるが、そこら辺をみんなで考えながら、やりがいになっていると考える。

#### ⑨「落合栗生地区歴史めぐり」運営委員会

- 委員 地域の歴史的資源というのはその地域にしかないため、非常に発信力としては強いと思う。隠れキリシタンや政宗公の娘さん等が出てくると、もっと素晴らしいものになっていると思うため、その素晴らしさをぜひ発信していただければと思う。また、ホームページを立ち上げたということだが、ホームページ自体も見に行かないと結構出てこないものなので、紙媒体のように勝手に広がっていくものでない。ホームページを作りましたという何か宣伝や、より多くの人に知ってもらうきっかけみたいなものをつくればいいのかと思う。また、最後にも書かれていたが、ボランティアガイドさんが少しでも増えて、地域の歴史のことなら任せてという方が増えると、その地域自体に来る人が増えるため、地域のファンがたくさん増えて、その地域の魅力がより発信できると思う。ぜひその辺応援しているため、頑張ってください。
- 委員 最初のところに、市民センターの講座を通して集まった皆さんで運営委員会というか、こういった動きを今作られているというお話があったが、現在の会員数を教えてください。また、皆さんがどんな役割分担で事業を行ってらっしゃるのか、その辺りの工夫や運営の様子等少し教えていただければと思う。
- 説明者 会員数は17名である。役割分担は、どちらかというとその作業にあたっての役割分担という形でやらせてもらっている。例えば、案内文を3ヶ所に建てるために案内文を担



当する係を3班に分けることや、チラシ1つとってもチラシ全体のデザイン係、どの写真を載せるかという写真を担当する人等決めている。会員は高齢の方が多い。80近い方もいらっしゃる。そうすると、細かいことは難しくても、どの写真が良いかということは分かるはずであり、メンバーの得意不得意を見極めて、写真係をお願いするとか、もう少しこだわる方については全体デザインをお願いするとか。今日配布しているチラシに文言があるが、それは会員が考えた文言である。そういう文言、キャッチフレーズを考える方等、そういう形で色々分けてやっていて、なるべく楽しくやれればと思っている。

委員 和気あいあいと、皆さん色々な出番を作りながら作っているということで、発表の中には連携団体のことも出ていたが、協力団体も得ているかと思う。何か今後の活動の中で、地域、同じ地域の中でなくても、テーマ的にこういう団体さんと協力連携できたらいいなと思っていることはあるか。

説明者 今後考えている総合案内板、それもデザインについて、デザインは私が不得意とするところなので、宮城で絵を描く会の方と少しコンタクトをとり、一部デザインを協力していただけないかと考えている。

#### ⑩一般社団法人 IKI ZEN

委員 1つだけ聞かせてほしい。1番最後のアンケートの中の一番上で、男性40代お1人、防災減災に関するワークショップ、トークショーを次回のイベントコンテンツに加えてほしいという要望があるようだが、次年度について、この要望を加えるか加えないか検討の余地があるかどうか。

説明者 今年で震災から10年を迎えるため、ここの部分に関しては私の方も、できるのであれば実施したいと本当に考えているところである。本当に小さいことで構わないと思っている。例えば、このイベント会場で、もし今災害が起きたらどうするかとか、IFというところをどう伝えるか、簡単なコーナーみたいなものを設けるかとか、何かしらの形で組み込んでいければと考えている。

委員 加えて、新型コロナウイルスの感染防止に関するようなものも含めていくと良いのではないかと思う。ぜひ頑張ってもらいたい。

委員 この中においてリアルな場でのイベントということで、ターゲットにした方々、特にお子さん連れで夜に出てくる方がこんなにもいらっしやったのかとすごく素晴らしいと思う。このイベント自体をオンラインも含めたものにするという検討は、今後あるか。また、外国人留学生の参加は1人だったということのため、そういったところは今後どのように考えるか少し教えていただければと思う。

説明者 オンライン等々のイベントも実は行いたいのだが、どうしてもDJイベントになると、そこに著作権等々、配信等々絡んでくる部分があり、なかなか難しいと思っている。例えば、FM局がついていない状況からついた場合、その著作権がそちらの方から払われる、そういう仕組みになっていたりする。やればやれないことはないと思うが、色々考えたときにまだハードルが色々あるなと感じている。外国人コミュニティに関しては悩みどころだが、今回のイベントを開催するにあたっては、外国人の方の学生寮でクラスターが発生した時期であり、なかなか積極的な呼びかけが難しかった

た。私達の本業の方と一緒にアライアンスを組んでいる企業は、結構外国人の方が多いコミュニティ、アジア各国やヨーロッパの方がいらっしゃるため、今後はそういうところに声をかけながら色々と考えていきたい。

委員 恐らく今後一気にはそんなによくなるかなと思いつつ、対面でのイベントはすごく望まれているため、参加費が1,000円でもこれほど多いことはすごいことと思う。頑張ってくださいと思う。

### (3) その他

- ・今年度の企画事業事後評価委員会及び次年度の青葉区まちづくり活動助成事業の評価委員会の開催について

## 4 閉会